

令和7年12月

秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和7年12月25日(木) 午後2時00分
閉 会 : 令和7年12月25日(木) 午後2時53分
会議場 : 歴史文化伝承館2階会議室

出席委員 : 1番委員 浅海 純一
2番委員 萩原 重範
3番委員 土橋 慶子
4番委員 根岸 和美

出席者 : 教育長 前野 浩二
事務局長 山越 達也
事務局次長兼学校指導監 飯野 芳伸
事務局次長兼教育総務課長 杉田 泰三
学校教育課長 峯岸 克典
保健給食課長 内海 典子
文化財保護課長 伊藤 晓
教育研究所長 佐々島忠重

書記 : 教育総務課主幹 中里 芳隆

1 開会宣言

教 育 長 : 令和7年12月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、3番委員及び4番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認め、公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和7年11月27日に開会された11月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1)教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 市内各小中学校は、昨日、第2学期の終業式を無事に迎えることができ、委員の皆様にも運動会や体育祭、学校訪問における公開授業の参観など、様々なご支援をいただき、感謝申し上げる。教職員の熱心な指導と保護者や地域の皆様の協力により、児童生徒は、充実成長できた2学期であったと思う。

1点報告する。

令和7年度法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会主催全国中学生人権作文コンテストが開催中であり、埼玉県コンクールで最優秀賞に選ばれた7名の生徒の作品が、現在審査中である。その中に尾田蒔中学校3年生佐々木海羽さんの作品があり、1月中旬以降の審査結果を期待している。児童生徒が出品できる作文は、年間を通して多くの作品展やコンクールがある。児童生徒本人の努力はもちろんだが、身近で指導した保護者や各学校の担当の先生に感謝する。また、令和7年度埼玉県小中学校児童生徒の「郷土を描く美術展」で、秩父地区の各学年1点が、県知事賞に選ばれるが、本市からは、小学校1年生から中学校3年生までの9学年中、5学年（小学校1年生、2年生、3年生、中学校1年生、2年生）で受賞した。

なお、秩父市では本年度より、生涯学習課の事業で、秩父市芸術文

化表彰と秩父市芸術文化奨励金交付制度が創設されたので、これらの児童生徒には申請をして欲しいと思っている。

1 番 委 員 : 感想を述べたいと思う。

秩父市教育委員会のホームページを見ると学校教育推進事業に、「教員業務支援員配置事業に係る働き方改革に係る取組状況」が掲載され、そこに各学校の令和7年4月現在の取り組み状況が載せてある。

教育委員会の支援について、3つの項目が全ての学校で、その取り組み状況の中に載せられていた。1つ目が「打刻システムの導入によるタイムマネジメントの意識向上」、2つ目が「校務支援システムの導入による指導要録、通知表等の電子化の実施」、3つ目が「留守番電話による時間外の業務の削減」であった。

各学校独自の取り組みが4つ目以降に記載されているが、多種多様で、各学校の実情に応じて取り組まれているのが、解った。小中4校で「教育課程の見直しによる業務時間の確保」があり、この教育課程を見直すのは、各学校の状況に応じて行っているのが感じとれて、何が見直されているのか、私は興味を持った。他に、4校の取り組みで「会議資料のペーパーレス化」があり、また、小中3校では、「ノー残業デーの設定」があった。それから、2校で取り組まれている項目が3つあり、「残業申告制度の導入」、「夏休みのプール指導の見直し」、「業務改善会議の実施」があった。1つの学校で、「学校評価の電子化」があり、どのようなことか興味があった。

小学校で外国人保護者向けの通知にルビをふる担当を先生方から教員業務支援員に変更するという項目があった。「夏休み作品展の外部公開を廃止」、家庭訪問を「表札訪問」に変更した学校があった。「表札訪問」というのは、ポストへの投函という説明があったが、家庭訪問を簡略化して業務改善する。それから、朝のお茶入れの廃止などである。細かいところまで業務改善されていると感じた。具体的な内容を伺ってみたいと思った部分もあった。

これらの取り組みが、教員業務支援員に全部業務を代替するという趣旨で挙げられているものではないとは思うが、各学校で支援員の配置により、業務改善の意識が高まっていると私は思った。文部科学省は、働き方改革の基本的な考え方として、教員業務の適正化を促進することを通じて、教員が担うべき業務に専念できる、子どもたちと向き合える環境整備を推進することとしている。つまり、先生が心に余裕を持って、教員の専門性を高め、子どもと関わる時間を確保することだと私は考えている。子どもと関わる時間で勤務時間をオーバーしてしまうこともあるとは思うが、子どもたちの知・徳・体の成長を支えるのが、教員の使命であり、教員のやりがいだと思うので、今後も各学校では、働き方の改善をお願いしたいと思う。

2 番 委 員 : 今年も児童生徒が頑張って、成果を挙げて、全国大会で優勝した話もあった。特に大きな学校現場からの事故報告等も聞いていないので、各学校では年間教育計画に沿って予定通りの教育活動が実施できたのではないかと思っている。また、その他教育委員会が所管する関係機関についても、同様のことは言えると思う。指導いただいた教育長はじめ、教育委員会事務局には改めて感謝を申し上げたい。

1点、令和8年度の高校入試についてである。私立の高等学校は、年明け1月22日が解禁、そして公立高校入試が2月26日で、目前に迫っている。各中学校の3学期は、中学3年生にとって、義務教育9年間を締めくくる大切な学期となる。学校の最後の仕上げは、3年生、生徒全員の進路実現だろうと思う。受験指導には一層の注力をいただき、何としても生徒たちの進学実現を目指していただきたいと思っている。

また、10月1日現在の志願状況は、市内の秩父高校と秩父農工科学高校が定員割れの状況である。教育委員会には、各中学校にも働きかけをしていただき、地元の高校への一層の支援をお願いしたい。このままだと、地元の高校が縮小していくことになる。地域の大切な教育財産が失われることもあるので、中学生の進路指導についても、地域の教育課題として、継続して考えて欲しい。

3 番 委 員 : 行事も多く、長かった2学期も昨日無事に終業式を終えて、子どもたちは待ちに待った冬休みを本日より迎えることができた。給食も短縮直前まで出していただき、感謝申し上げる。今月はアニメ給食というメニューがあり、多くの子どもたちがとても楽しみにしていたようである。ただ、期待が大きすぎて、メニューがそのままだったのが、残念に感じたという声を聞いて、無償化を導入したり、物価も高くなっていて、大変だとは思うが、いつもと違うアクセントとか、アニメのメニューの特徴のものが1つでも付いていると良かったという声を子どもたちから聞いていた。

3学期は、中学生も高校入試があり、年度末となるため、大変だと思うが、先生方、生徒ともに忙しい時期になると思うので、体調に気をつけて年末年始を過ごしていただき、新学期を迎えたたらと思う。

4 番 委 員 : 令和7年度の第2学期の終業式が各学校で行われた。11月後半から今月にかけて、インフルエンザの流行が大変心配された。現在、収束の方向に向かっているので、年末年始、児童生徒が健康に留意し、充実した気持ちで良い年を迎えて欲しい。

各学校で、小学校1、2年生のフェルトペンの作品、また、小学校3年生から中学3年生までは、書き初め作品という取り組みを行っている時期である。この時期に、文字と向き合い書写力を高める学習は、大変有意義なことと考える。集中力を高め、思考を深めながら書写に

取り組む機会は、心身の成長にも良い影響をもたらすと期待している。新年の各学校での作品発表に向けて努力を重ねて欲しい。

個人的な所感であるが、5月から教育委員を拝命して、各学校での授業や行事を拝見する機会をいただいた。私自身大きな気づきや新たな価値を発見する機会となり、感謝申し上げる。来年も積極的にその機会を活用し、微力ながら教育の充実のために、力を尽くしていきたい。

(2)事務局からの報告事項

事務局長：秩父市議会12月定例会について報告する。11月19日に開会された秩父市議会12月定例会は、12月16日に委員長報告があり、採決の結果、付議された全ての議案が可決された。なお、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した物価高対策について令和7年度一般会計補正予算第5回を編成し、急遽、本期の定例会へ上程することになり、会期が延長され、閉会は12月26日となった。

お手元に会期延長の日程と報告資料として、一般質問の通告表と教育委員会関係の答弁書を配付したので、後ほどご覧いただければと思う。また、本会議の様子については、議会事務局のホームページで動画を公表しているので、後ほどご覧いただければと思う。

学校指導監：2点報告する。

1点目、12月15日現在の秩父市内中学校卒業予定者の進路希望状況についてである。令和8年3月市内中学校卒業予定者数は443名で、この内全日制高等学校への進学希望者は、406名である。その内訳は県内公立が326名、県内私立が65名、県外私立が15名である。また、定時制高等学校への進学希望者が2名。通信制高等学校への進学希望者が20名。県外高等専門学校希望者が2名。県内特別支援学校への進学希望者が5名。専修学校等進学入学希望者が3名。就職等希望者はいない。進路希望校未定者は、5名で現在相談中であり、希望校が決まるよう尽力している。なお、入学志願確定者数は2月20日に公表されることになる。

2点目、市内小中学校の2学期の終業式についてである。24日(水)市内の全小中学校で終業式が行われた。11月下旬からインフルエンザとコロナの感染により学級閉鎖、学年閉鎖の措置をとる学校が多くあったが、各校、学習の遅れもなく、無事に2学期を終えることができた。お礼申し上げる。

教育総務課長：秩父地区PTA連合会について報告する。

この連合会は、秩父地区内の各小中学校のPTAで構成され、PTA発展に努め、教育振興と児童生徒の健全な成長を図ることを目的に、平成30年に組織された。発足当初から事務局を秩父市におき、秩父

郡内市町の負担により、事務職員を雇用し、会の運営に当たってきた。しかし、令和6年度末に横瀬町の小中学校が連合会を脱退し、秩父地区の連合会自体も埼玉県のPTA連合会から脱退をした。本年7月、郡内の教育委員会の担当者と協議を行ったところ、実質的に連合会の事業規模が縮小して、市町の財政的な支出や事務局の職員の雇用など、行政の関与の妥当性が低いのではないかとの結論に至った。その協議内容を連合会長に伝えたところ、市町からの負担金、事務局職員の雇用の廃止について了承いただき、連合会の9月の正副会長会議、10月の理事会で、今後の方針についてお諮りいただいた。その結果、秩父地区PTA連合会は解散の方向で事務を進めることとなり、1月21日に行われる臨時総会で承認が得られれば、今年度で解散となる見込みである。

なお、会長より、未確定だが秩父地区PTA連合会解散後、秩父市内の小中学校によるPTA連合会を結成して、連絡会議等を通じて情報共有を図っていく予定と伺っている。

学校教育課長

: 「入学祝い金」と「修学旅行補助金」の申請状況について報告する。6月議会で、「入学準備品購入補助金」からランドセルの購入要件の無い「入学祝い金」へ変更を行ったが、昨日までの申請状況は、対象者334人に対して、申請者308人、申請率92%である。また、「修学旅行補助金」については、9月までに修学旅行が終了した小中学校の申請状況が対象者592人に対して、申請者数565人、申請率95%である。

10月以降に修学旅行を実施した南小学校、原谷小学校、吉田小学校、特別支援学校の対象者については、12月に入り、案内通知を発送しており、申請受付中である。補助金なので「入学祝い金」、「修学旅行補助金」の申請者には、来月以降、定期的に案内を発送して、どちらも100%の申請になるよう業務を進めたい。

保健給食課長

: 2点、報告する。

1点目、給食の提供についてである。2学期最後の給食の提供は、小学校が22日(月)に、中学校が23日(火)で終了した。大きな事故もなく、給食を提供できたことを報告するとともに、3学期も安心安全で美味しい給食の提供に努める。また、23日には学校給食物資納入業者選定委員会が開かれた。野菜類、肉加工類、乳類、調味料類など、来年度、給食に食材を提供する17社の納入業社が選定された。

2点目、11月の感染症の発生報告である。新型コロナウイルス感染症は、前月と比べて30人の増にとどまったが、インフルエンザは、小学生が376人、中学生は179人、合計555人で、前月と比べて528人の増となり、大幅に増えている。11月から12月にかけてのインフルエンザの学年閉鎖、学級閉鎖について、小学校では13

校中9校、中学校では、8校中6校で措置をしたが、今週は全て解除となっている。

文化財保護課長　：　1点報告する。

「文化財防火デー」に伴う文化財防火演習の実施についてである。

「文化財防火デー」は、昭和24年1月26日に、現存する最古の木造建造物である国宝「法隆寺金堂」が炎上し、壁画が焼損したことにより昭和30年に毎年1月26日と定められ、本年度で72回目を迎える。

秩父市では毎年1月26日に近い日曜日に消防署・消防団の協力をお願いして文化財防火演習を実施している。今年度は令和8年1月25日(日)の午前、秩父市消防団大滝荒川方面隊の協力により、荒川歴史民俗資料館を会場として実施する。荒川民俗資料館には、市指定有形民俗文化財「半縄の傘鉾」が保管・展示されている他、荒川地域の貴重な資料が展示されている。当日は「資料館周辺で何らかの原因により発生した火災が折からの強風にあおられて資料館に延焼する危険がある」との想定で、駐車場内での放水訓練を行う計画である。

教育研究所長　：　1点、報告する。

12月6日と13日の2日間、秩父市福祉女性会館で、英語教育強化推進事業「イングリッシュ・フェスタ」を開催した。本事業は、ALT派遣会社の協力により、小学4から6年生及び中学生を対象とし、児童生徒がALTと共に体験的に異文化に触れてコミュニケーションを深めるとともに、活動を通じて英語に親しんだり、既習の英語を使いながら課題に取り組むイベントである。

2日間で、のべ小学生29名、中学生6名の合計35名の児童生徒が参加した。1日目は、「英語を使っての工作」のテーマで、英語を使いながらクリスマスにちなんだ工作やアクティビティを行った。2日目は、「英会話を楽しもう」のテーマで、飲食店、病院の場面での英会話を挑戦したり、英語を使ったゲームを行った。参加児童生徒は、授業で習得した英語の基礎知識を活用し、ALTや他の児童生徒と英語でコミュニケーションを楽しむことができた。

「イングリッシュ・フェスタ」は今年度、夏休みの開催も含め、3日間実施した。特徴的なのは、参加者の3割程度がリピーターで、参加者からは、「楽しかった」という感想が多く、その要因として、ALTが準備する会場の楽しい雰囲気と良質な臨場感が挙げられている。

教育研究所では、今後も市のイベントとして、英語に親しむ機会を設定し、より多くの児童生徒が参加し、英語の楽しさを味わえるよう研究していきたい。

(3)補助執行に関する報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特はない。

【質疑・応答】

- 教 育 長 : 1番委員からの教育課程の見直しによる時間確保、学校評価の電子化、表札訪問について。
- 学校 指 導 監 : 教育課程の見直しは、今まで学校は、授業を上乗せで計画していたが、各校で授業時数を減らし、日課を工夫し、放課後に教員が業務をできる時間を多くの学校で確保でき、成果が上がっている。
- 学校評価の電子化は、Google Formsを使って、回答してもらい、自動集計ができるので負担軽減になっている。
- 表札訪問は、コロナで家庭訪問が一時期全く無くなり、教員の負担軽減になったが、子どもが住む地域や家庭環境は、行かないと解らないので、教員が子どもの住む家に行って、玄関等での対応や表札にメッセージを入れて、帰るということをしている。
- 2 番 委 員 : 入学祝い金や修学旅行の補助で、まだ申請していない方がいるが、その主な理由は。
- 学校 教育 課長 : 調査をしていないが、締切日が3月31日まであるので、ゆっくりの申請なのではないかと思う。
- 2 番 委 員 : 年度内だと期間が長すぎるので、一旦締め切っては。
- 1 番 委 員 : 通信制高校が20名で希望者がかなり多いが、状況として、この子どもたちが不登校傾向があるとか、解るようであればお答えいただきたい。
- 学校 指 導 監 : 通信制高校については、不登校傾向、不登校の生徒のケースが非常に多くなっている。前向きに通信も進学という形で進めて、子どもたちも、社会自立に向けていければと思うので、通信制に行く子どもたちについては、最後まで自立ができるよう、進学してもらうように、中学校の先生方にも指導していただいているところである。

6 議案審議

- 教 育 長 : 議案審議に関わる議題は、今回、特はない。

7 協議事項

(1)後援等について

- 教 育 長 : 後援等について、説明を求める。
- 教育 総務 課長 : 別紙のとおり、4件の協議をお願いする。
- 1 番 委 員 : 1番最後の音楽療法コンサートについて、この申請書の6番に、実施要項に予算書を含むとあるが、予算書に関する記載がないが。
- 教育 総務 課長 : 予算書含む実施要綱の提出を求めているものだが、企画書の中で、

入場料が無料で特に問題ないと思う。

1 番 委 員 : 実施要綱に予算書を含むって書いてあるので、誤解を生じるのではないか。

教 育 長 : 入場料は無料でも、会社の持ち出しがあるとか、講師謝礼があるのか、その辺も含めて1回確認だけお願いしたいと思う。

他に質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、全ての事業について、後援等を承認することでいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、事務局には、今後の処理をお願いする。

(2) 1月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 1月教育委員会定例会について、1月29(木)午後2時から歴史文化伝承館2階会議室において開催することを御提案させていただく。
(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、1月教育委員会定例会については、1月29日(木)午後2時から、歴史文化伝承館2階会議室にて開催する。

8 その他

特になし

9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。
以上をもって、秩父市教育委員会12月定例会を閉会する。